

一月九日

9820

第一頁

馬政
自

陸軍省
陸軍部
特報發第一四號

一九三

馬匹失踪

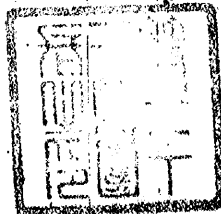
馬關スル件特別報告

昭和拾參年三月拾六日

第二十三師團長小松原道太郎

陸軍大臣板垣征四郎殿

首題、依り陸軍報告規程第四條第三號ニ
依り別紙ノ通り報告ス



陸軍部
13.12
軍

(活字典・京東)

秘

馬匹失踪ニ關スル件特別報告

失蹤月日時 昭和十三年十二月六日十二時三十分頃

隊名 歩兵第七十三聯隊 通信隊

種類及用途 並馬名 見發價格

滿洲馬、馱馬、岡北 時價壹百八拾圓

年齡 九歲

體高 一米三十裡

毛色 鹿毛

特徵 鬃線(背筋)約三裡(青毛)

之 路印(尻部)積不明瞭

以 尻背一切開手術 治癒痕若干アリ

一、失蹤前、狀況

十二月六日十二時三十分、厩廻番上等兵加藤貞夫

八馬手入ノ夕メ厩南側馬繋系場ニ繋キ厩當番

兵ト共ニ厩舎内掃除實施中頭絡ヲ切リ放馬

原因

セリ

該馬ハ去ルナ月平七日假定敷馬トシテ配當セラレタルカ性粗暴ニシテ取扱調教ニ極メテ困難ヲ感シアリ未ク調教十分ナラス

當日ハ馬匹ノ大部一泊行軍ニ出場中ニシテ該馬及日本馬一頭ノミ残置セシメアリ未ク集群性ノ十分矯正セラレアラサリシニ一頭ノミ残置セラレシヲ以テ寂寥多ク余リ遂ニ放馬セルモノト認ム

一處置

十二月六日十二時三十分頃放馬セントスルラ厩廻番上等加藤貞夫發見シ直ニ厩當番兵ト協力シ取押サヘント營内ヲ駈ケ廻リシニ増々狂奔シ遂ニ衛兵所裏ヨリ表門ヲ出テ南方ニ向ヒ失踪セルヲ以テ直ニ厩舎ニ列リ乘馬ヲ準備シ厩廻番上等ハ厩當番兵名ト共ニ

陸軍省
通信部
通信處分

歩兵第七十二聯隊通信隊（麻園番上等兵）

陸軍歩兵上等兵 加藤 貞夫

失踪方向ニ急進シ西屯附近一帯ヲ搜索スト
共ニ緑川部隊、山縣部隊、東部隊ニ連絡セ
シモ發見セサルヲ以テ尙南屯附近一帯ヲ搜
索セシモ發見スルニ列ラス

十六時三十分一内行軍ヨリ歸隊スルヤ隊長ハ右情
況ヲ聽取スルヤ直ニ電話ヲ以テ在海各部
隊、憲兵隊、警察、満軍部隊ニ連絡シ搜索
ヲ依頼セリ

翌七日八日二両日共早朝ヨリ乘馬搜索班ニ組
ヲ派遣シ西屯、南屯、六間房及伊敏川ニ沿フ
地區並海拉爾市外周一円ヲ隈ナク搜索セシ
モ未夕發見スルニ至ラス

馬匹ノ固癖及性格ヲ承知セルニ係ラス注意團
密ヲ欠キシタメ放馬失踪セシメタルハ勤務ニ
對シ積極的ナラサルニ因ルモノト認め輕營倉
一日ニ上處ス

處罰官 中隊長

其他必要ナル事項

隊長ハ本事件發生ヲ未然ニ防遏スルタメ係
將校以下ニ對シ其ノ手段及注意ニ於テ適
確ヲ欠キシ爲貴重ナル軍馬ヲ遂ニ失踪セ
シメタルハ深ク責任ヲ感シアル處トス